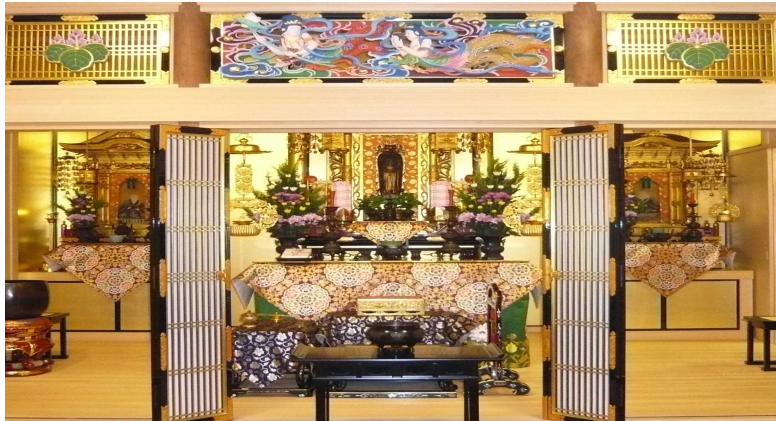


光寿無量

年頭にあたり
御挨拶を申し上げます
今年もお念仏とともに
一日いちにちを
大切に過ごしましょう



限りなき光と寿の仏

阿弥陀如来がさとりを開く前、法蔵菩薩であったとき、すべてのものを救うため、限りない光と寿をそなえた仏になろうと誓われた。そして果てしない修行の末に、その願いを成就して、如来とられた。

阿弥陀とは無量をあらわす。阿弥陀如来は、その限りない光をもって、あらゆる世界を照らし、私たちを摂め取ってください。その限りない寿をもって、あらゆる時代を貫き、私たちを救いってください。



親鸞聖人は仰せになる。

十方微塵世界の念仏の衆生をみそなはし
摂取してすてざれば
阿弥陀となづけられたまつる

たとえ私たちがその救いに背を向けようとも、摂め取って捨てないと、どこまでも働き続ける仏がおられる。その仏を阿弥陀如来と申し上げるのである。

「拝読 浄土真宗のみ教え」より

なんとも有り難い言葉ですが、私は特に「すてざれば」という所が大好きです。「絶対に見捨てない、たとえあなたが忘れていても」と見守ってください。阿弥陀様。

少し前に、「自己責任」

という言葉がよく使われた事がありました。この言葉は、誰かの不幸に関わらないようにしよう、見捨てようとするときに使われる言葉の様に思います。

また、東京オリピック招致のときから「お・も・て・な・し」という言葉が日本の美德としてもてはやされましたが、なんとも表面的だなと思っていました。人をもてなすには、心がこもっていなければなりません。

大切なのは、「お・も・て・な・し」の心です。

その大きな大きな思いやりの心が、煩惱から離れられずに迷子になっている私たちを、「我にまかせよ、必ず救う」とお誓いになった阿弥陀様のお心です。

住職より

三十年目

昭和63年10月に、教誓寺に入寺してから今年で30年目、住職を継職してからは15年目となりました。

亥年の生まれですので、入寺までよりも教誓寺の者としての人生の方が長くなります。

住職に就いてからは、本堂並びに庫裏の建築・合同墓の建立などの整備を行って参りました。

本堂は、百年以上保つようにはしっかり作りました。次の震災でもしっかり耐えてくれる事と思います。

これからは、次代に渡す準備をしなければならぬと思います。

ここ数年の日本は、企業の利益を中心にして、戦後に克服してきたはずの階級社会・格差社会・貧困の復活など、気の重くなる話題も多く見受けられます。その変化して行く時代に、

あわせて対応することも模索して行かなければなりません。

皆様の心のより所と成るべく、精進して参りたいと思います。皆様におかれましては更なるお力添えをお願いいたします。

住職 佐々木義史

教誓寺一年の行事

今年一年の教誓寺の行事です。元日・春・秋の彼岸会、盂蘭盆会、報恩講にはそれぞれ法要を勤修いたします。皆様お参り下さい。

元日

三月十八〜二十四 春彼岸

三月二一日(春分の日) 彼岸会

七月一三〜一六日 お盆

七月十四日 盂蘭盆会

九月二〇〜二六日 秋彼岸

九月二三(秋分の日) 彼岸会

十月二一日(第3日曜) 報恩講

*報恩講の日程は毎年10月の第四の第四日曜日にしていましたが、都合により本年は、第二日

曜の21日にさせて頂きます。おまちがえのないようお願いいたします。

新年のご参詣

新しい年を迎えたら、お詣りに参りましょう。元日会法要

一月一日 午前七時三〇分より

お寺は、準備万端整えて、元日から皆様のお参りを歓迎致します。

前坊守もお汁粉を拵えて、皆様に召し上がって頂くのを楽しみにしております。

お子様には、お年玉のお菓子を用意しております。皆様でお参り下さい。

年回忌法要

御法事は亡き人を縁として、いま生かされている生命の尊さをおかみしめつつ、故人も我も共にすくつてくださる阿弥陀如来の智慧と慈悲に手を合わせ、その仏恩にご報謝のおつとめとして行います。

今年の年回忌

- 一周忌 平成二九年二〇一七年
- 三回忌 平成二八年二〇一六年
- 七回忌 平成二四年二〇一二年
- 十三回忌 平成十八年二〇〇六年
- 十七回忌 平成十四年二〇〇二年
- 二三回忌 平成八年 一九九六年
- 二七回忌 平成四年 一九九二年
- 三三回忌 昭和六一年 一九八六年
- 三七回忌 昭和五七年 一九八二年
- 五十回忌 昭和四四年 一九六九年
- 七十回忌 昭和二四年 一九四九年
- 百回忌 大正八年 一九一九年

各ご施主様宛に年回忌法要のご案内をしています。すでに繰り上げておつとめされた方にもご案内が届きますことをご容赦下さい。また、内容に誤り等があった場合は、ご遠慮なくご指摘下さい。ご参詣の日時につきましては、お寺にご相談下さい。

浄土真宗本願寺派 圓生山 教誓寺
108-10073
東京都港区三田 一十二一
〇三(三四五)二三九
kyouseiji@is4.so-net.ne.jp